



厚生財団

KOSEIZAI DAN

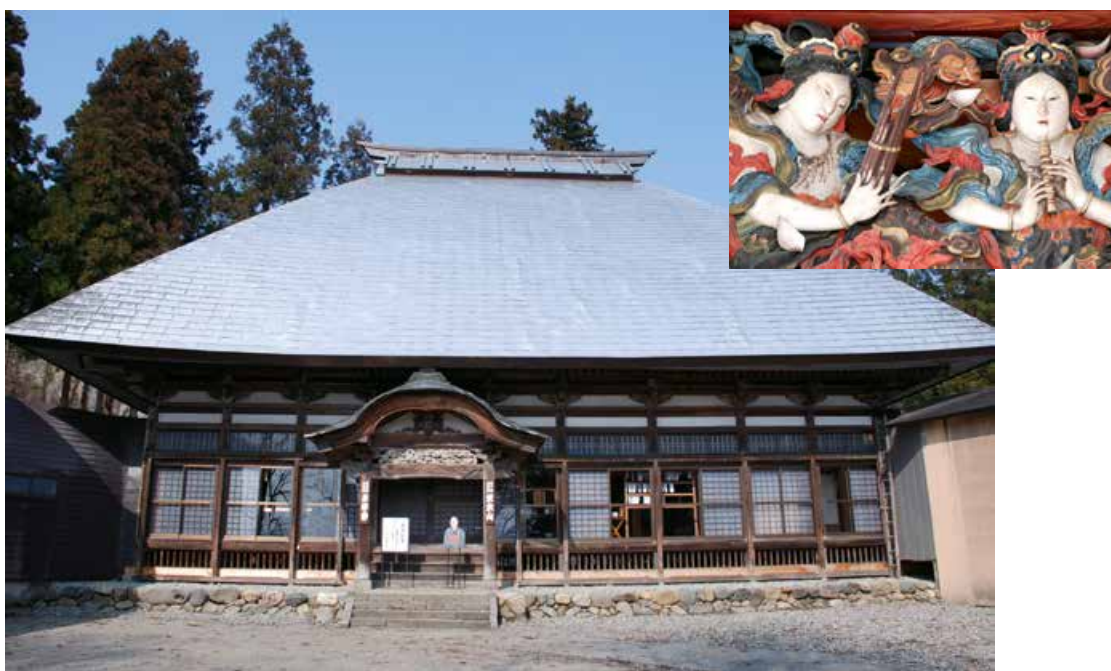
一般財団法人 新潟県教職員厚生財団 TEL 025 (228) 3581 URL <http://www.koseizaidan.or.jp>
〒951-8516 新潟市中央区東中通1-86-73 FAX 025 (224) 8830 E-mail info@koseizaidan.or.jp

TOPICS (主な内容)

令和8年度 役職員の紹介	P.2
令和7年度 決算及び事業報告	P.3
教育・文化活動 助成金申請受付中 事業案内 自動車資金貸付金	P.4
翡翠とユネスコ世界ジオパークのまち 糸魚川シリーズ	P.6

新潟県の文化財シリーズ

創建は室町時代後期とされる曹洞宗の名刹です。「日本のミケランジェロ」と称される石川雲蝶が13年あまりの歳月をかけて制作した100点あまりの彫刻が随所に施されています。嘉永5(1852)年本堂再建の際、当時の住職と雲蝶が賭けをして、雲蝶が勝ったら手間代をはずむ、負けたら手間暇惜しまないとの約束をし、和尚が勝利したことで雲蝶の代表作とも言える様々な彫刻が施されたと言われています。



■ 永林寺
魚沼市指定文化財

写真提供・文 魚沼市観光協会
魚沼支部長 魚沼市立堀之内小学校長 藤田 剛 様



資産形成としての財団の活用

理事長 堀井 重人

「酷暑日」という言葉が生まれ、今年も夏の暑さが心配されますが、団員の皆様におかれましてはご健康に留意されてお過ごしのことと存じます。

最近20～30歳代の皆様と話していますと「将来のことをよく考えているなあ」と感心することがあります。老後の蓄えや資産形成を計画的に実践しておられるからです。恥ずかしながら自身のことを振り返りますと、毎日の勤務と週末の余暇の使い方で頭が一杯で「老後の生活は年金で何とかできるだろう」程度の認識だったと思います。

一方、若い皆様が情報を集め長期的な備えをされる中、投資を優先し過ぎた結果、生活費や手元のお金が不足気味になるという事例が報じられることもあります。

変化の激しい昨今では、長期的な見通しを持つことが難しくなっていますが、やはり「生活の安定」としての預貯

金、「老後の確実性」を支える年金、「資産の成長」としての投資の「年代に応じたバランス」が大切だと思います。

その中で、厚生財団として資産形成の面でお役に立てることもいくつかあります。たとえば、毎月の積立金は退団時に普通厚生費を付与して全額返金されます(昨年度末の退職者お一人平均約250万円)。また、大樹生命と提携している新潟県教職員年金制度は、節税効果と老後の確実性が期待できる個人年金としておすすめです。

さらに、団体扱いでお得に加入できる大樹生命の保険は「万が一に備え、家計や資産を守る仕組み」です。「大樹セレクト」は、医療や介護など4つの分野から必要な内容を選べるのが特徴です。また、新商品の「ネクストウェブ」は、生存給付保障付きと保険料払込完了後に資産として活用できるのが特徴です。

当財団の取組の一部を紹介しましたが、皆様の豊かな生活を支える資産形成としてもご活用願えれば幸いです。

令和8年度 役職員の紹介

◆顧問・理事・監事◆

職名	氏名	所属所名	職名	氏名	所属所名
顧問	坂井 育男	新潟県教職員厚生財団	理事	今井 渉	長岡市立阪之上小学校
顧問	猪股 博英	新潟県教職員厚生財団	理事	大島 一英	十日町市立十日町小学校
顧問	平山 誠	新潟県学校生活協同組合	理事	小畑 活	長岡市立表町小学校
理事長	堀井 重人	新潟県教職員厚生財団	理事	藤本 高雄	上越市立大手町小学校
副理事長	小田島 豊	新潟県教職員組合	理事	小林 秀智	上越市立大町小学校
専務理事	関矢 洋	新潟県教職員厚生財団	理事	吉澤 環	新潟県学校生活協同組合
常務理事	淡路 弘幸	新潟県教職員厚生財団	理事	澁谷 一男	新潟県学校生活協同組合
理事	市野 正廣	新潟県立新潟高等学校	理事	中村 昭宏	新潟県教職員組合
理事	石黒 浩司	新潟県立新発田高等学校	監事	原田 一	長岡市立東北中学校
理事	根谷 聡	新潟県立江南高等特別支援学校	監事	森田 雅弘	小千谷市立小千谷中学校
理事	清水 美穂	新潟市立鳥屋野中学校	監事	西脇 直美	新潟県教職員組合
理事	荻野 真美	新潟市立小針小学校	監事	井部栄二郎	大樹生命保険(株)新潟支社
理事	土田 利康	新発田市立御免町小学校			

◆評議員・支部長◆

支部	評議員	所属所名	支部	支部長	所属所名
新潟北区	中村 雅芳	早通南小学校	新潟北区	平田 伸一	松浜小学校
新潟東区	本間 直樹	竹尾小学校	新潟東区	長沼 智之	東山の下小学校
新潟中央区	鈴木 一弥	浜浦小学校	新潟中央区	古井丸裕三	万代長嶺小学校
新潟江南区	坂内 徹	亀田東小学校	新潟江南区	中村 香	曾野木小学校
新潟秋葉区	飯田 厚	荻川小学校	新潟秋葉区	中川 日里	新津第二小学校
新潟南区	木村 杏子	根岸小学校	新潟南区	後藤 孝	大通小学校
新潟西区	板垣 英樹	真砂小学校	新潟西区	江口 陽子	青山小学校
新潟西蒲区	長谷川 靖	潟東小学校	新潟西蒲区	山口 潤	巻南小学校
新潟市中学校	大橋 正治	黒崎中学校	新潟市中学校	清水 美穂	鳥屋野中学校
長岡・三島	佐藤 隆雄	中島小学校	長岡・三島	網 信行	旭岡中学校
上 越	石黒 和仁	高志小学校	上 越	小池 修	春日中学校
三 条	糺谷 正夫	裏館小学校	三 条	今井 洋子	栄中学校
柏崎・刈羽	會田 範夫	刈羽小学校	柏崎・刈羽	宮崎 隆史	西山中学校
新 発 田	藤原 靖也	七葉中学校	新 発 田	角 直浩	外ヶ輪小学校
小 千 谷	小山 史	東小千谷小学校	小 千 谷	山崎 勝之	小千谷小学校
加茂・南蒲	小野 浩	田上中学校	加茂・南蒲	高橋 道子	加茂小学校
十日町・中魚	南雲 恵子	南中学校	十日町・中魚	大島 一英	十日町小学校
見 附	松本 浩嗣	西中学校	見 附	土佐 和久	見附小学校
村上・岩船	白澤 道夫	保内小学校	村上・岩船	高橋 秀明	岩船中学校
燕・西蒲	丸山 俊	分水中学校	燕・西蒲	大森 亨	吉田小学校
糸 魚 川	木嶋 正和	能生中学校	糸 魚 川	大瀬 孝志	能生小学校
妙 高	杉田 和宏	新井北小学校	妙 高	青木 弘明	新井小学校
五 泉	水藻 正美	愛宕小学校	五 泉	小野 裕子	村松小学校
阿賀野・北蒲	藤原 明	聖籠中学校	阿賀野・北蒲	樋口 憲哉	水原小学校
佐 渡	福井 晴人	金井中学校	佐 渡	森 和人	金井小学校
胎 内	山沢 正仁	胎内小学校	胎 内	松原 利弘	中条小学校
魚 沼	蕨澤 毅夫	小出小学校	魚 沼	藤田 剛	堀之内小学校
南 魚 沼	上村 一彦	城内小学校	南 魚 沼	小宮山 仁	六日町中学校
東蒲原郡	渡邊 直樹	阿賀津川中学校	東蒲原郡	齋藤 大祐	上川小学校
高等学校	増川 義行	高田北城高等学校	高等学校	田中 謙一	新潟中央高等学校
高等学校	外山 徹宏	三条高等学校	—	—	—
高等学校	須戸 修	新潟商業高等学校	—	—	—
特別支援学校	小林 秀樹	吉川高等特別支援学校	特別支援学校	生方 清司	長岡市立高等総合支援学校
—	—	—	大 学	村上 拓彦	新潟大学農学部
新 事 研	熊倉 雅明	裏館小学校	—	—	—

◆厚生財団職員◆

事務長 田 中 英 幸
主 任 渡 邊 健

部 長 山 口 隆 行
書 記 長谷川あゆ美

主 査 茂 野 恵 子

主 任 今 井 典 昭

令和7年度 会計決算・事業報告

正味財産増減計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日 (単位:円)

経常増減の部	
経常収益	711,653,804
基本財産運用益	550,000
特定資産運用益	140,538
資金運用収益	651,014,706
事業収益	59,938,584
雑収益	9,976
経常費用	475,409,645
事業費	235,937,038
管理費	239,472,607
評価損益等調整前当期経常増減額	236,244,159
投資有価証券評価損益等※	△993,173,000
当期経常増減額	△756,928,841
経常外増減の部	
経常外収益	0
経常外費用	0
当期経常外増減額	0
正味財産の部	
税引前当期一般正味財産増減額	△756,928,841
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期一般正味財産増減額	△756,998,841
一般正味財産期首残高	3,507,262,679
正味財産期末残高	2,750,263,838

※投資有価証券評価損益等について
例えば金利が1%の債券を持っているとき、金利が3%に上がると、既存の債券の魅力が減少し、価格が下がります。令和7年度は金利が急上昇したことで、保有している債券の価格が下がりました。財団では厳しい基準を設け30%の下落で評価損会計を行っています。債券は満期まで保有すると投資額を回収できます。元金が毀損することはありません。

◆ 団員数・厚生資金積立金

令和8年3月31日現在

	団員数	厚生資金積立金
現職団員	16,240人	208億7,823万円
継続団員	5,012人	115億2,009万円
合計	21,252人	323億9,832万円

◆ 新規貸付状況

種別	件数	貸付金額
生活資金	581件	3億7,664万円
自動車資金	287件	5億4,525万円
結婚資金	20件	3,180万円
入学資金	51件	9,990万円
学資金	70件	1億2,740万円
災害資金	1件	300万円
住宅・宅地資金	17件	9,000万円
合計	1,027件	12億7,399万円

◆ 生命保険団体取扱い事業

種類	内 訳
普通保険	保有件数 2,678件 年間取扱保険料 4億3,026万円
教職員年金制度	加入人数 1,373人 加入口数 34,565口

◆ 公益目的支出計画実施報告書 平成26年4月1日～令和8年3月31日

1. 公益目的財産額	14億 435万円
2. 当該事業年度の公益目的支出累計額 (①+②-③)	2億5,870万円
①前事業年度末日の公益目的支出累計額	2億3,636万円
②当該事業年度の公益目的支出の額 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)	2,234万円
③当該事業年度の実施事業収入の額	0万円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	11億4,565万円

※正味財産は、貸借対照表の資産から負債を引いた額で、企業会計の純資産に該当するものです。

また、「正味財産増減計算書」は当該年度の正味財産の増減状況を適正に表示したもので、企業会計の損益計算書に該当するものです。

貸借対照表

令和8年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	1,886,934,680
現金・郵便振替・普通預金	1,513,476,544
定期預金・有価証券	260,000,000
前払金・未収金等	113,458,136
固定資産	33,387,870,222
基本財産(有価証券)	50,000,000
特定資産(退職給付引当)	73,153,000
償却資産(建物・構築物・什器備品・ソフトウェア)	183,893,402
土地	163,258,520
貸付金	3,608,240,659
有価証券	29,309,324,641
資産合計	35,274,804,902
負債の部	
流動負債	53,072,483
未払金等	3,565,102
保険料預り金等	45,987,005
期末勤勉手当引当金	3,520,376
固定負債	32,471,468,581
積立金	32,398,315,581
退職給付引当金・役員退職慰労引当金	73,153,000
負債合計	32,524,541,064
正味財産の部	
一般正味財産	2,750,263,838
正味財産合計	2,750,263,838
負債・正味財産合計	35,274,804,902

◆ 厚生費贈与事業

①普通厚生費	総 額 3,848万円
	一人平均贈与額 1,811円
	年度末に全団員に贈与(個人の積立金に繰入れ)

②特別厚生費

種 別	件 数	贈 与 金 額
弔 慰 金	58件	580万円
災 害 見 舞 金	43件	202.5万円
病 気 見 舞 金	397件	793万円
香 げ 料	1,325件	2,094.5万円
結 婚 祝 金	327件	1,587.5万円
就 学 祝 金	456件	908万円
出 生 祝 金	554件	1,103万円
永年団員祝金	1,839件	4,639万円
合 計	4,999件	1億1907.5万円

◆ 厚生・補助・あっせん事業

種 類	内 訳
教職員手帳	現職団員(希望者)と継続団員
総合健診等	総合健診(人間ドック) 1,224人
受診料補助	オプション検診 2,042人
退職準備金借入	1件

新潟県民のための教育・文化活動

助成申請
受付中

新潟県内の教育振興に寄与する団体や事業を支援します

地域の伝統文化、芸術を継承する活動や教職員同士のサークル活動、研究指定を受けた学校・団体などを対象とした令和8年度の「普通事業助成」の申請を受け付けています。

希望する団体は期日までに申請手続きを行ってください。なお、昨年度に引き続き助成を希望する団体も改めて今年度分の申請が必要です。

助成対象

○伝統文化芸術・サークル活動等

※活動拠点の支部長（本紙P.2参照）の推薦が必要です。

○研究指定校・研究物発刊団体等

申請方法

ホームページの書式集から「普通事業助成申請書」を取得し、申請書に記載の添付書類と一緒にご提出ください。

申請期限

令和8年10月30日（金） 当日消印有効

決定・送金

11月中旬に助成決定通知をし、指定口座に送金します。
各団体への助成額は、申請団体数や活動内容等によって決定します。

事業案内

自動車資金貸付金

【随時受付・送金】

車やバイクの購入および車検・修理・部品購入等に利用できます

利用できる方	入団から6か月以上経過した現職団員 ※無給期間中の団員や、返済月額の総額が給料月額の30%を超えた団員は利用できません。
貸付限度額	400万円（購入費用を上限とする）
貸付利率	年1.20% ※令和8年度現在 毎年度見直しを行います。
申込期限	事由発生日（注文日等）から1年以内
返済方法	元利均等月賦返済 or 元利均等月賦返済とボーナス返済との併用
返済回数	36回（3年）～120回（10年） ※返済回数や返済額は貸付金額に応じて決定します。「返済月額表」にてご確認ください。 ※臨時返済がいつでもできるため、早期完済が可能です。

必要書類

①自動車資金借用証書

②一般資金貸付借受申込書

③添付書類

- 車購入の場合は自動車注文書（売買契約書）の写し※見積書は不可
- 車検・修理等の場合は見積書（請求書）の写し

郵送でも提出可能です。不備がなければ受付日の翌営業日に送金します。申請の際は印鑑や収入印紙の漏れ、添付書類の間違い等にご注意ください。

必要書類や記入例、返済月額表はホームページの「書式集」から取得できます。

開催報告 退職を祝う会

令和7年度末に退職された皆様へ、長年ご加入いただきました感謝の意を込めて「退職を祝う会」を開催いたしました。

今年度は土曜日開催とし、大勢の皆様から会食を楽しんでいただきました。



地区	月 日	会 場	参加者数
上 越	6/13	ホテルハイマート	11名
中 越	6/20	ホテルニューオータニ長岡	35名
下 越	6/27	ホテルイタリア軒	49名

在団期間 25 年以上の方をご招待しています

事務局から

永年団員祝金 振込口座報告のお願い

今年度の該当者（平成12年度・17年度・27年度入団の現職団員）へ、ご案内を送付しました。期限までに振込口座連絡票のご提出をお願いします。送金日は9月30日（水）です。

提出期限 令和8年7月31日（金）

※平成8年度以前の入団者は、退団時に一括贈与されるため、今回のご案内は送付していません。

災害見舞金の請求期限について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対する「災害見舞金」の請求期限は、令和8年12月31日です。まだ請求されていない団員は早目にお手続きください。（請求期間は事由発生日から3年間）

積立金や貸付金の残高確認は団員マイページで

「払込残高明細書」で払込金・残高の確認

「Web申請書」で書類の取得

ホームページからアクセス！ ログインID・パスワードをお忘れの場合はご連絡ください。

新潟県教職員厚生財団

検索



大樹生命からのお知らせ

新潟県教職員年金制度

● 拠出型企業年金保険 ●

月払3口（3,000円）よりお申込みできます

月 払：1口 1,000円
賞与払：1口 1,000円

賞与払は10口（10,000円）よりお申込みできます

2026年度（新規加入・増口）

お取扱い期間

9/1(火)～10/15(木)
厚生財団員限定(注1)

予定利率

年 0.75%(注2)

(注2) 予定利率は将来にわたって保証されるものではありません。また予定利率は2026年6月現在のものであり今後変更される場合がございます。

加入日(2027年1月1日)現在、満**60歳未満**の方(注1)までご加入できます!!

- 豊かな老後は「教職員年金制度」から！
- 自由設計が可能で、厚生財団員(注1)のための制度です。
- 4つの年金タイプで老後をサポートできます。
- 旧個人年金保険料控除適用による節税効果(注3)が期待できます。

(注1) 加入日（責任開始日）現在、新潟県教職員厚生財団の現職団員で、満18歳以上満60歳未満（昭和42年1月2日～平成21年1月1日生れ）の方。

なお、掛金払完了年齢（満65歳）までの払込期間が10年未満（昭和46年11月30日以前生れ）の方は、旧個人年金保険料控除の適用は受けられません。

(注3) 2026年5月現在の税制に基づいた記載です。今後税制の改正が行われた場合には記載内容と相違する場合があります。

※2012年1月より生命保険料控除制度が改正されましたが、当制度については2011年12月31日以前に締結された契約であるため旧制度の生命保険料控除額の適用が継続されます。

※ご加入の際は、パンフレットを必ずご覧ください。

一般財団法人新潟県教職員厚生財団

引受保険会社 大樹生命保険株式会社

大樹-KB-2026-191

第5回

翡翠とユネスコ世界ジオパークのまち
糸魚川

自然災害を克服した交流

山岸 洋一（長者ヶ原考古館）

■大地の成り立ちと人々の営み

糸魚川―静岡構造線に沿って流れる姫川の流域は、急峻な地形に加え、複雑な地質構造から成っているのが特徴です。それはフォッサ・マグナ側の脆弱な地滑り地帯を抱えるなど、多くの災害に見舞われてきた歴史があります。

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク活動の中で、身近な災害を克服する防災学習に取り組み、地勢の特色を活かした地域づくりも課題です。

■記録に残る自然災害

複雑な地質に根差した自然環境は、多雪という気象条件も生み出し、急傾斜地では雪崩という災害に見舞われることに繋がりました。文政7年11月（西暦1825年1月）長野県境にほど近い根知谷白池で2軒の歩荷宿を巻き込む「巖撫（いわなで）」が発生し、宿の住人と宿泊していた歩荷21人が被災しました。



図1 松本街道大綱峠と戸倉山（右）、白池（中央左）

■忘れ去られた災害・災禍の痕跡

糸魚川市本町・大町では、平成28年12月、140軒以上の家屋に被害が及び、40,000平方メートルの焼失面積に達する大火に見舞われました。これまで記録がある中では、300年間に同規模の火災は10回を数えます。

この火災は、北西寄りの季節風やフェーン



図2 駅北大火跡地、大型防火水槽埋設箇所の土層断面

現象による乾燥した強風などによって被害が拡大しがちであり、海岸線に沿った砂丘上で発達した燃えやすい木造町屋といった条件も負に働いてしまいます。江戸時代以前から成長を遂げてきた砂丘は、地層に残されていた火災痕跡から、過去に何度か発生した災害を明らかにする材料となります。この砂丘地帯は揚げ浜式製塩の重要な舞台「塩場」ともなりました。生産された塩は、信越境の白池を経由して、内陸信州松本城下へ運ばれる産物で、「敵に塩を送る」故事でも知られました。

■氷河時代からの交流の大地

日本人は昔から、災害と共存してきました。地域の未来を考え、これからも上手に地球と付き合っていくためには地域ごとに正しく大地の特性を知ることが大切になってきます。この地域は山岳氷河が発達した2万年以上前から、白馬連峰に石材を求めた斧形石器、縄文時代以来のヒスイ製品も日本列島を席卷した大地の産物でした。大地の恵みを最大限に活用しながら、災害を克服し、他地域の人々と盛んに交流してきた歴史に学び、地域振興に役立てて行くことが望めます。